

たけいち尚子道政だより 第2号

令和6年2月1日発行

たけいち尚子事務所 〒006-0022 札幌市手稲区手稲本町2条3丁目3-30
☎011-681-5566



子ども政策調査特別委員として、 「予防のための子どもの死亡検証 (チャイルドデスレビュー：CDR)」 について質問

予防のための死亡検証
チャイルド・デス・レビュー (CDR)
とは？

18歳未満の子どもの死亡に関して、医療機関や警察、消防、行政関係者などの専門家が、子どもが死亡に至った経緯等に関する様々な情報を収集し、検証を行うことで、子どもの死亡に関する効果的な予防策を導き出し、予防可能な子どもの死亡を減らすことを目的とする取り組みです。北海道では令和3年度から、北海道CDRモデル事業が行われています。

何が問題なの？

北海道CDRモデル事業の抽出方法は、全数調査ではなく協力医療機関からの連絡で、検証すべき事例が漏れてしまうのではないかと懸念があります。実際に全死亡の約1割しか検証対象になっていません。

また、遺族からの同意がないと必要な情報が得られず、具体的な予防策を検討できないという仕組みも問題です。

子どもの大切な命をもう二度と失わせないことがいちばん重要な目的であることを忘れずに、事業の取り組みや国への要望を進めていくべきです。

北海道議会の中継や質疑の動画配信もぜひご覧ください。議員名や用語で検索もできます！武市尚子、CDRで検索！
http://pref-hokkaido.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp

質疑応答の要旨

Q 令和4年度に実施した北海道CDRモデル事業の対象事例数と個別検証対象事例数は？また、対象事例や検証対象事例の抽出方法は？

A 令和4年度のCDR対象事例は12件、個別検証対象事例は7件。協力医療機関から提供があったものを対象とし、不治の疾患等を除いた事例。

Q 死亡数全体は126名であり、対象事例が10%に留まる。今後、抽出方法について再検討する予定はあるのか。

A 現在の方法を継続しつつ今後の把握方法について検討していく。

Q 自殺について。令和5年の公表資料によると北海道で自殺で亡くなった20歳未満の方は32名。CDRの報告書では、子どもの自殺について遺族からの承諾書を取り付けられず、関係機関等から情報を得られなかったため、具体的な予防策の検討には至らなかったとの記載がある。

なぜ遺族の承諾書が必要なのか。

A CDRで収集する情報は、個人情報保護法により保護される個人情報も含まれるため、遺族等の同意を必要とすると国のモデル事業の手引において規定されているため。

Q 情報が得られなかったために具体的な予防策の検討に至らなかったということは事業の目的が果たされていないのではないのか。今後どのように対応していくのか。

A CDRの重要性について幅広い普及啓発に努めるとともに、国に対しては個人情報の収集方法や取扱い等に係る法令の整備等を要望しながら、事業を着実に進め、子どもたちが健やかに成長できる環境の整備に努める。

たけいち尚子 2023年夏から冬ま での活動

道議会では予算特別委員会、決算特別委員会で、公約に掲げる医療・福祉分野のほか、コロナ禍における経済政策についても検証を求めました

洋上風力発電工事現場（石狩湾新港）



CO2回収型石炭発電所（大崎ワールジェン@広島県）



六ヶ所再処理工場（使用済み核燃料再処理工場@青森県）



半導体産業はじめ、これからの北海道経済にとって、エネルギー問題は避けて通れません。風力、火力、原子力発電所や再処理場等の視察を積み重ねています
また、石狩市との意見交換や並行在来線視察などを通じ、交通問題にも取り組んでいます

原子力防災訓練（泊原発）



手稲・石狩交通問題懇談会
地下鉄・ロープウェイについて意見交換



道南いさりび鉄道視察@函館



あすか高校視察（猛暑のため休校中）
←34℃！



手稲神社

星置神社

お祭りやイベントを通して地元手稲をもっともっと盛り上げたいです！

たけいち尚子プロフィール

昭和51年9月19日札幌生まれ 手稲中央小・藤女子中・高校卒業、東京大学法学部卒、同大学院医学系研究科修士・博士修了（法医学）、首都大学東京法科大学院修了。医療問題専門弁護士として、法律事務所、医科大学にて勤務。厚生労働省医政局医事課医事・死因究明等対策専門官を経て、2023年統一地方選で初当選。

たけいち尚子事務所

〒006-0022
札幌市手稲区手稲本町2条3丁目3-30
TEL 011-681-5566
E-mail:office@takeichi-hisako.com

たけいち尚子と地域の問題や政策について語り合いませんか？
お気軽にご連絡ください！



これからも手稲のため、北海道のため、誠心誠意取り組んでまいります！